

このマニュアルは PowerPoint Office 365 バージョン 1910 で書かれています

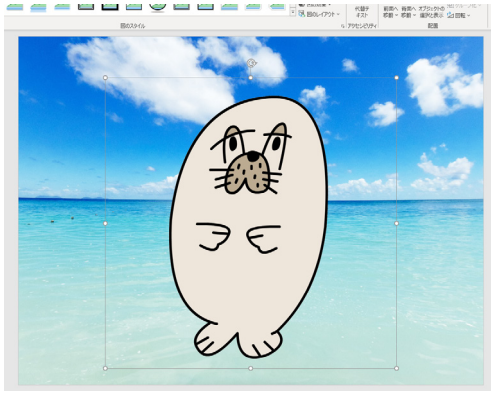
背景透過には2つの方法があります。「透明色を指定」する方法と、「背景の削除」をする方法です。

— 透明色を指定 —

背景が1色のイラストに適した方法です。

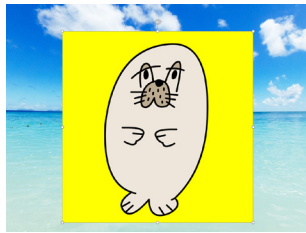
<p>1</p>		<p>背景透過したい画像を挿入するか、貼りつけます。</p> <p>※ 背景が透過されたことがわかりやすいように、海の写真が貼ってあります。</p>
<p>2</p>		<p>「色」→「透明色を指定」をクリック。</p> <p>※ 「色」が見当たらない場合は、画像をダブルクリックするか、「図の形式」をクリック。</p>
<p>3</p>		<p>透過させたい色（ここでは白）を、どこでもいいのでクリックします。</p>

4



このように白い部分が透明になれば OK です。

補
足



背景の色は他の色でも透明にすることができます。



この機能は画像の中の1色を透明にする機能なので、背景と同じ色がイラストにも使われていると、それも含めて透明になってしまいます。

このような場合は、次ページの「背景の削除」を使いましょう。



写真には、影があつたり、同じ白に見えても微妙に違っていたりで、キレイに背景を透過できません。

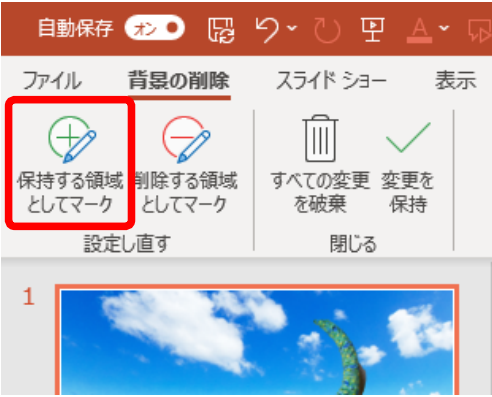
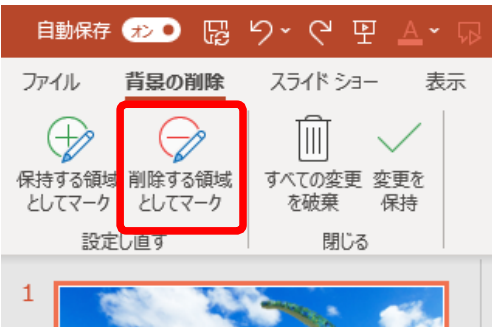
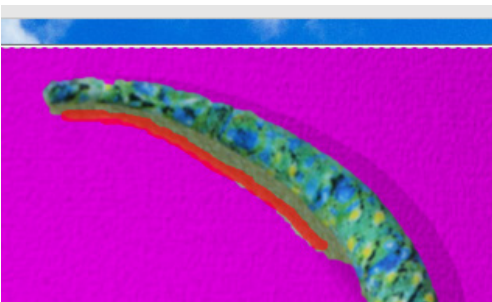
写真の場合も、次ページの「背景の削除」を使いましょう。

－ 背景の削除 －

細かな設定で背景を透過する方法です。

1		背景透過したい画像を挿入するか、貼りつけます。
2		「背景の削除」をクリック。 ※ 「背景の削除」が見当たらない場合は、画像をダブルクリックするか、「図の形式」をクリック。
3		このように背景が透過される部分が紫色で表示されます。 この場合、頭と足の一部も紫色になっているので修正します。 ※ PowerPoint のバージョンによっては、ここで枠が表示され、それを広げることによって頭と足が途切れないようになります。
4		「保持する領域としてマーク」をクリック。 ※ 反対に削除したい部分がある場合は、「削除する領域としてマーク」をクリック。

5		<p>ペンで保持したい部分を適当になぞります。</p> <p>※ PowerPoint のバージョンによっては、自由に書けるペンではなく、直線を引くタイプのものもあります。</p>
6		<p>画像以外の場所をどこでもいいのでクリックすれば、背景が透過されて完成です。</p>
7		<p>次に、写真の背景を透過してみましょう。</p> <p>用意する写真はできるだけ背景が白いものにしましょう。</p> <p>すると、細かい設定をしなくても一発で背景を透過することができます。</p> <p>なお、被写体が白い場合は、逆に黒い背景のものを使いましょう。(白い背景に白い被写体だと PowerPoint が自動で境界を見つけづらいので)</p>
8		<p>「背景の削除」をクリック。</p>
9		<p>PowerPoint が自動的になんとなく背景を紫色にしてくれます。</p> <p>しっぽの先が紫になってしまったので、修正します。</p>

<p>10</p>		<p>「保持する領域としてマーク」をクリック。</p>
<p>11</p>		<p>残したい部分に、クリックしながらマウスを動かし、線を引きます。</p> <p>間違えて線を引いた場合は、「Ctrl」 + 「Z」 キーで元に戻せます。</p> <p>しっぽの先は残りましたが、一緒に壁も残ってしまいました。</p> <p>今度は、壁を削除します。</p>
<p>12</p>		<p>「削除する領域としてマーク」をクリック。</p>
<p>13</p>		<p>削除したい部分に、クリックしながらマウスを動かし、線を引きます。</p>

14



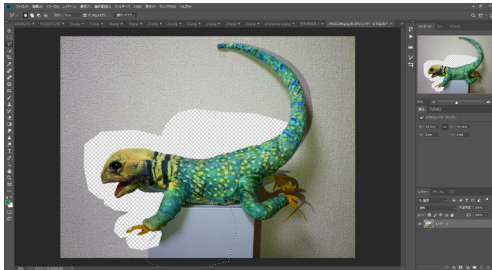
保持と削除を繰り返して、背景を削除します。

15



画像以外の場所をどこでもいいのでクリックすれば、背景が透過されて完成です。

補
足



背景がごちゃごちゃしたものや細かい部分があるものなど、PowerPointの機能では背景透過するのに限界があります。

さらにキレイな背景透過を目指すなら、PhotoshopやPaintShopなど画像編集ソフトの購入をお勧めします。